

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

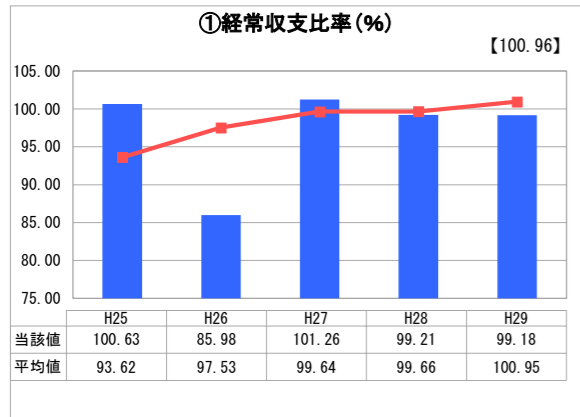
兵庫県 西脇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	48.75	15.76	93.52	3,564

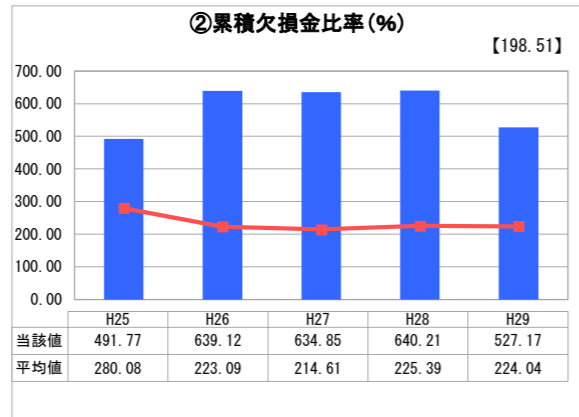
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
41,177	132.44	310.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,462	2.15	3,005.58

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

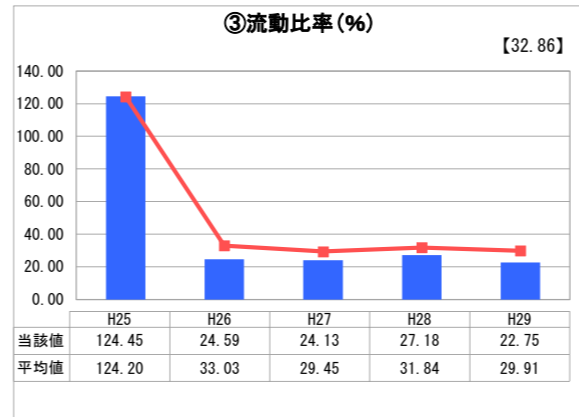
## 1. 経営の健全性・効率性



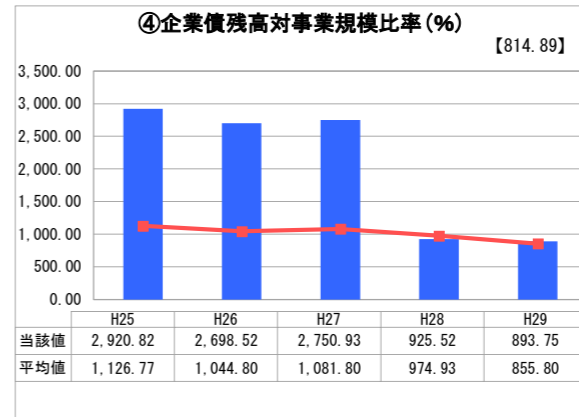
「経常損益」



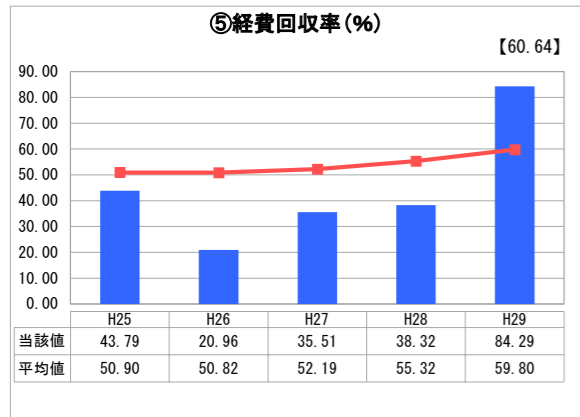
「累積欠損」



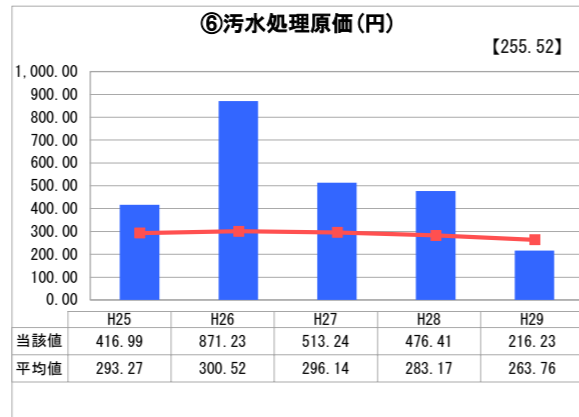
「支払能力」



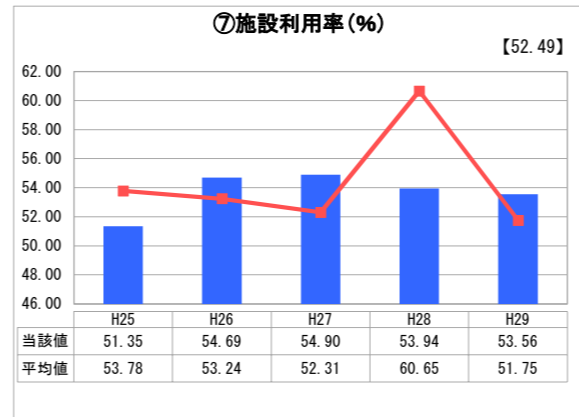
「債務残高」



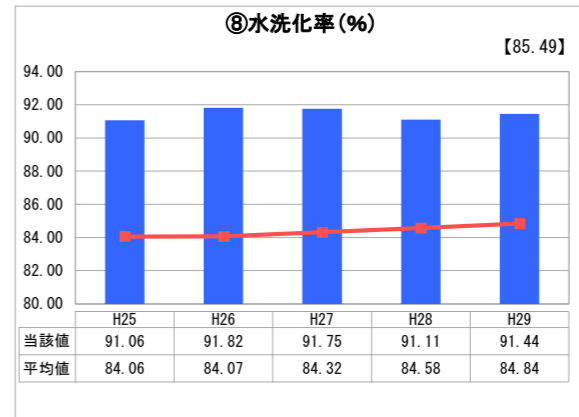
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

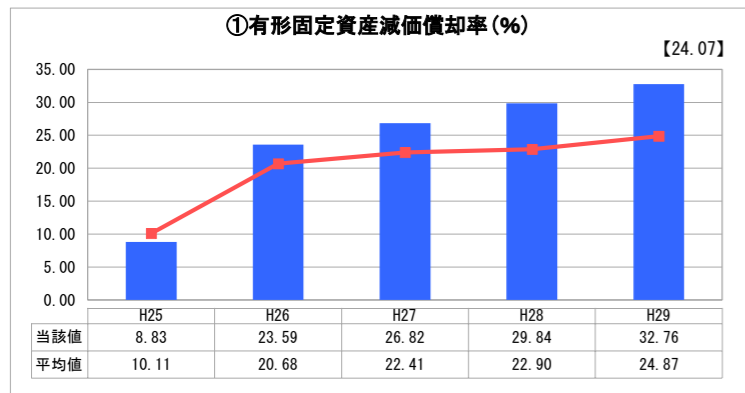


「施設の効率性」

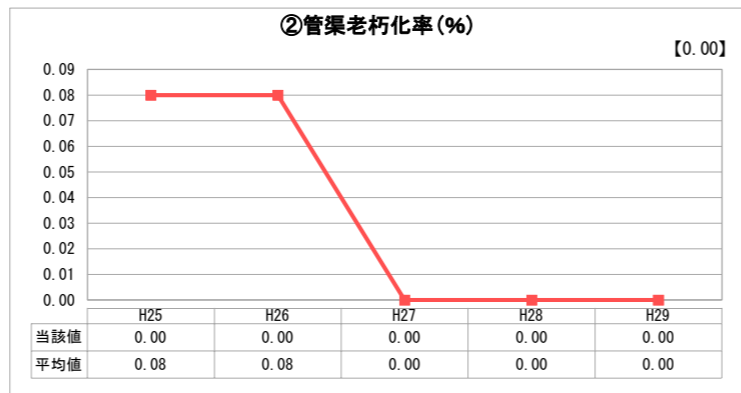


「使用料対象の捕捉」

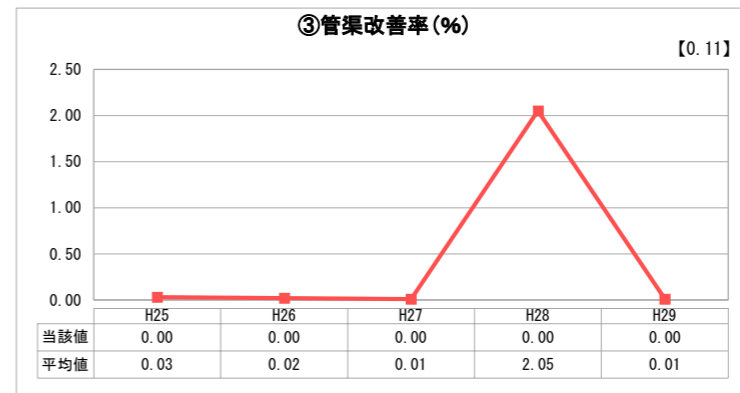
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%をわずかに下回っています。安定した経営を維持するためには、更なる費用削減が必要となっています。

②累積欠損金比率は、全国平均の約2倍となっています。今後は、公共下水道と特定環境保全公共下水道への統合によって改善されると見込んでいます。

③流動比率は、余剰資金を保有していないため、全国平均を下回っています。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値と同程度となっています。今後は、企業債借入額よりも償還のスピードが速くなるため、比率は下がっていくと見込んでいます。

⑤経費回収率は、前年度より使用料収入は減少しましたが、汚水処理費の見直しにより、平成29年度は84.29%となり、類似団体平均値や全国平均を上回っています。

⑥汚水処理原価は、前年度より汚水処理費が減少したことにより、平成29年度は216.23円に下がり、類似団体平均値や全国平均より低くなりました。

⑦施設利用率は、類似団体平均値や全国平均と同程度で推移しています。

⑧水洗化率は、91%前後で推移し、類似団体平均値や全国平均を上回っている状況にあります。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、年々上昇し施設の老朽化が進んでおり、類似団体平均値や全国平均より高くなっています。

②③法定耐用年数を超えた管渠はありませんので、管渠老朽化率及び管渠改善率は0であります。

### 全体総括

農業集落排水は、旧西脇市区域は平成6年4月1日、旧黒田庄町区域は平成9年4月1日に供用開始し、普及率はほぼ100%となっています。

しかし、人口減少や節水意識の向上などにより、使用料収入が年々減少する中で、処理施設の老朽化に伴う修繕等の維持管理経費が年々増加しています。

そのため、使用料収入につながる水洗化率の向上を図るとともに、今後、平成29年1月に策定した「下水道事業経営戦略」に基づき、旧西脇市区域は農業集落排水9処理区を流域下水道へ統合、旧黒田庄町区域は農業集落排水3処理区を特定環境保全公共下水道へ統合し、将来訪れる更新費用の削減、維持管理費の削減に努め、経営基盤を強化していきたいと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。